

フォーラム：がんばろう！東北 開催される

330名が結集、東北の社会資本整備に必要な予算確保と地域間格差是正に向けた高規格道路整備などを求める決議を採択！



(会場風景)

東北の社会資本整備を考える会（〈代表：（一社）東北経済連合会〉、東北六県商工会議所連合会、東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会、東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会、東北建設業協会連合会の5団体で構成）では、7月13日（水）仙台市の江陽グランドホテルにおいて「フォーラム：がんばろう！東北」を約330名結集のもと開催した。来賓として、宮城県知事（代理遠藤副知事）、宮城県議会菊地議長、東北地方整備局山本局長等が出席し、当協会からは国井会長を始め30名が参加した。

大会の冒頭、主催者代表挨拶に立った東北経済連合会の増子会長は、「日本海沿岸東北自動車道のミッシングリンクや日本海側と太平洋側をつなぐ高規格道路の未整備から、東北域内の地域間格差が顕在化していることを指摘し「高速道路の整備は、地域間の交流・連携を強化し、観光・物流をはじめとする東北の産業・経済の活性化や、災害時対応の観点から早急な整備促進が必要。」と述べた。また、「自然災害が激甚化・頻発化している。このフォーラムを通じて今後の国土強靱化対策及び社会資本整備の取り組みについて認識を共有したい。」と挨拶した。

来賓の山本東北地方整備局長は、「東日本大震災から11年が経過し、主要なプロジェクトはおおむね完了した。今後は、残りの復興事業の完遂を図るとともに、記憶や記録を後世に伝える震災伝承にもしっかりと取り組んでいく」とした上で「復興プロジェクトを利活用しながら、次の東北の発展に向けた積資資本整備の議論を深めていきたい」との方針を示した。

意見発表では、(株)デ・リーフデ北上の内海なつきさん（宮城県）が「震災からの復興 未来の農業へ」と題し、割烹やました女将の鈴木智子さん（福島県）が「地域繁盛につながる道路整備」と題してそれぞれ意見発表した後、(株)経世論研究所所長、作家の三橋貴明氏が「今こそ土建国家の復活を！国土強靱化こそが繁栄への道」と題して基調講演を行った。

最後に、東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会会長の佐藤 浩氏が、関係機関に対する要望事項7項目を掲げた決議を読み上げ参加者全員で採択した。